編 集 後 記

◎野に山に花の季節がやって参りました。そして新らしい年度が始まりました

　畜産ブームともいうべき昨今ですが、一部にはこのような付和雷同的な風潮を反省する声もあるようです。やはりその地域の特徴を生かした、また経営条件に見合った形で畜産を取入れることが肝心とのことです。そのためには個々の農家では自分の経営をできるだけくわしく記帳し、その結果から新しい計画を樹てなければならないといわれます。

◎会員の皆様には大変御迷惑をおかけしましたが、種々の都合で３、４月合併号とさせていただきました。何卒悪しからず御了解ください。以後12月まで合併号は出さないよう努めます。

◎年度初めにあたり、今月号はこのほど決まりました県畜産関係予算から畜産課各係の新年度事業の概要を特集として掲載しました。簡略に過ぎた部分もあるかと思いますが参考にしてください。合併号になったため、早くいただいた原稿は時期的に少しずれたものもできましたが御容謝願います。また畜産試験場だよりは、３月号分の和牛試験場と、４月分の養鶏試験場だよりを併せて載せることにしました。

◎会費未納の方は早く御払込みください。なお購読会員をふやすため、新規会員を募集しておりますので、会員各位も新規加入の勧誘などについて何分の御協力をくださいますようお願いします。